

《審判報告書 記載要領》

**審判報告書**

競技会名 2024年度 埼玉県第4種サッカーリーグ戦

試合時間 40分 Aの合計得点 分 会場

対戦 A Aの前半得点 対 B 実際のキックオフ時刻を正確に記載

結果 : ( : ) ( : ) 延長( : ) ( : ) PK ( : )

Aの合計得点 年 月 日 時 分 キックオフ

主審 Bの前半得点 所属 所属とは審判員としての所属協会  
第4の審判員 所属 3・4級＝埼玉県  
所属 2級＝関東

副審1 所属 所属とは審判員としての所属協会  
副審2 所属 3・4級＝埼玉県  
所属 2級＝関東

Bの後半得点

競技場、用具の状態

サーフェス(土地・天然芝・人工芝)とゴール・フラッグ等の状況を記載(通常は「土・良好」)

警告(競技者・交代要員)

時間	チーム	番号	氏名	理由 ※( )内に[反/ラ/異/繰/遅/距/入/去]を記入し、具体的事由を記入
1				( )
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

時間表記の統ルールは、以下のとおり記

- ・分未満は切り上げ
- ・20分以降は「20+1分」等アディショナルタイムを表記(アディショナルタイムも分未満切り上げ)
- ・後半開始時は21分、以降前半の20分を加えた表記
- ・後半20分以降は「40+1分」等アディショナルタイムを表記

退場(競技者・交代要員) (詳細は重要事項報告書に記入し提出する。但し警告2についてはこの報告書のみでよい。)

時間	チーム	番号	氏名	理由 ※不正、乱暴、つば、阻止(手)、阻止(他)、暴言、警告2
1				
2				
3				

警告・退場(チーム役員)

警・退	時間	チーム	役職	氏名	理由 (警告)※反、異、遅、を記入し、具体的事由を記入 (退場)※乱暴、つば、暴言、警告2、詳細は重要事項に記入
1					
2					
3					

その他の報告事項

特段無い場合は「特になし」と記載。

以下の具体例のような事象があれば記載。

- ①主審が懲戒の罰則を運用することのできない時間帯に懲戒罰に相当する行為があった場合
- ②チームのユニフォーム等に問題があった場合
- ③キックオフの時間が遅れた場合
- ④副審や第4の審判員に問題があった場合
- ⑤運営面で問題があった場合
- ⑥その他(規則第5条の主審の「権限」「職権と任務」に問題が生じた場合)

以上の通り報告いたす。なお、①、④、⑥については、この審判報告書に加え、裏面の審判報告書(重要事項)を用いて、詳細を報告する。

## 審判報告書(重要事項)

競技会名 2024年度 埼玉県第4種サッカーリーグ戦

対 戦 A 対 B

日 時 年 月 日 時 分 キックオフ

退場、その他の重要事項についての詳細

退場、その他の重要事項についての報告がない場合は、この面の記載・署名は不要。

退場(競技者・交代要員・チーム役員)または、

①主審が懲戒の罰則を運用することのできない時間帯に懲戒罰に相当する行為があった場合

④副審や第4の審判員に問題があった場合

⑥その他(規則第5条の主審の「権限」「職権と任務」に問題が生じた場合)

については、この面で詳細を記載。

記入の際、次の事項に留意すること。

・タイトルを明記⇒例:「85分Aチーム6番～(氏名)選手による乱暴な行為、退場について」

・客観的な事象を明記⇒例:「いつ」「どこで」「誰が(誰に)」「どのように」「どうした」

・主審の下した決定を明記⇒例:「相手競技者の顔を平手でなぐったので、乱暴な行為によりレッドカードを示し退場を命じた」

・退場、退席後の競技者、役員の行動、態度を明記⇒例:「素直に競技のフィールドから出ていった」

### 効率的大会運営のためお願い

主審は、試合前の審判打合せの際に、副審1(A1)・副審2(A2)・第4の審判員に対して、「審判報告書」の該当欄に「氏名」「所属」の記載を受けておく。

主審は、試合終了後速やかに(連続して副審等が入っている場合は、当該担当試合終了後速やかに)、自身が試合中の記録に用いた「審判カード」および「両チームのメンバー表」を手元で参考にして「審判報告書」を作成する。

主審は、「審判報告書」を作成次第直ちに、「両チームのメンバー表」をセットして、ブロック責任者(不在時はその代理)に提出して、内容確認を受ける。その際、「審判カード」の提出は不要とする。

以上の通り報告いたします。 年 月 日 主審署名

(公財)埼玉県 サッカー協会会長殿